

No 134 2024年
01-03月期
景気動向調査



巻頭 特集アンケート

「今年の賃上げ見通しについて」

「価格転嫁の状況について」

「物流の2024年問題」の影響と対応について」



目次

1. 特集アンケート.....	1
(1) 今年の賃上げ見通しについて	
(2) 価格転嫁の状況について	
(3) 「物流の2024年問題」の影響と対応について	
2. 全国の景気動向.....	11
3. 和歌山県内の景気動向.....	12
4. 今後の景気の見通し.....	19
5. 経営上の問題点.....	20
6. 県内経済指標.....	22

調査概要

1. 調査の対象

一般財団法人和歌山社会経済研究所が保有する企業名簿より2,000社を抽出。

2. 回収状況

	発送先数	回答社数	回答率 (%)	回答社数（地域別）			
				和歌山市	紀北地域	紀中地域	紀南地域
建設業	200	91	45.5%	41	12	14	24
製造業	400	169	42.3%	69	52	32	16
卸売業	300	117	39.0%	56	17	22	22
小売業	300	112	37.3%	41	27	19	25
サービス業	800	245	30.6%	120	47	25	53
全産業	2,000	734	36.7%	327	155	112	140

3. 地域区分

地域区分	市町村名
紀北地域	海南、紀美野、岩出、紀の川、橋本、かつらぎ、九度山、高野
紀中地域	有田、湯浅、広川、有田川、御坊、美浜、日高、由良、印南、みなべ、日高川
紀南地域	田辺、白浜、上富田、すさみ、新宮、那智勝浦、太地、古座川、北山、串本

1. 特集アンケート

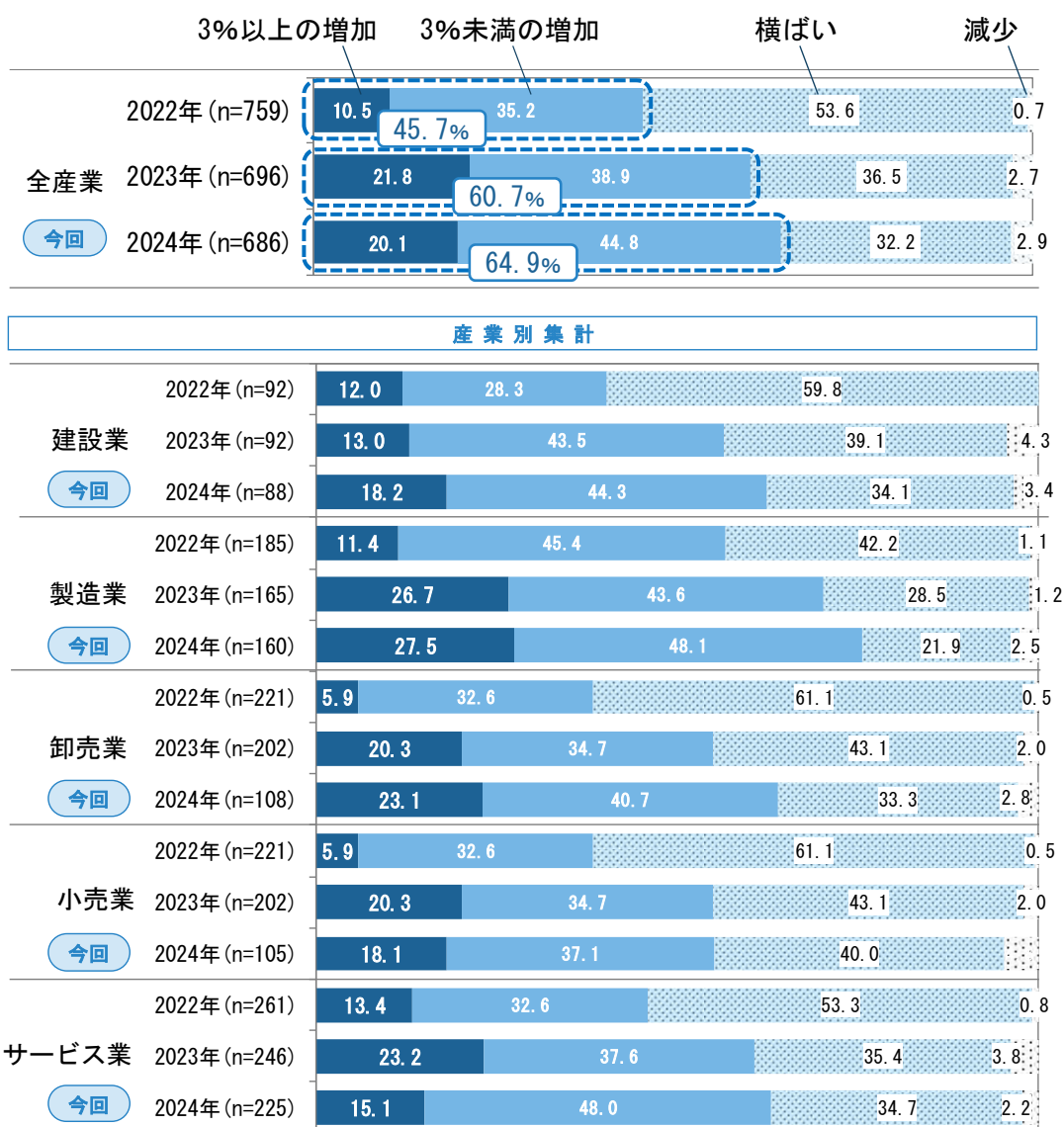
(1) 今年の賃上げ見通しについて

① 質問 今年の正規雇用者の給与額（賞与・残業代除く）の増減は？【単一回答】

回答 64.9%が「増加」と回答。2023年の60.7%、22年の45.7%を上回った

- 要点**
- ① 「増加」は製造業、建設業で特に多い
 - ② 「3%以上の増加」は製造業、卸売業で多い

図表1 今年の正規雇用者の給与額の増減（昨年比）



1. 特集アンケート

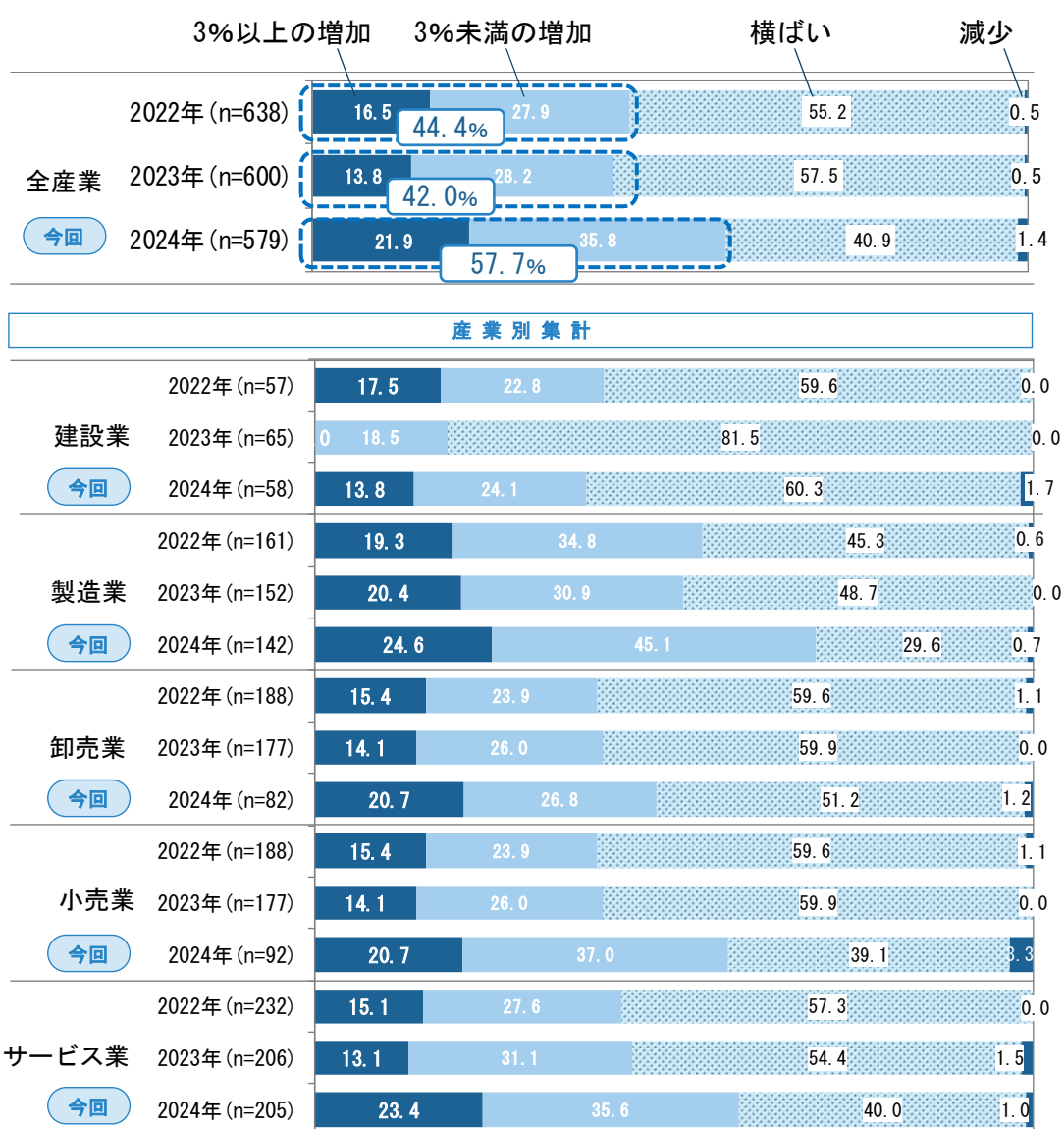
(1) 今年の賃上げ見通しについて

② 質問 今年の非正規雇用者の賃金単価（時給・日給等）の増減は？【単一回答】

回答 57.7%が「増加」と回答。2023年の42.0%、22年の44.4%を大きく上回った

- 要点**
- ① 「増加」との回答は製造業、小売業、サービス業で特に増えている
 - ② 「3%以上の増加」が21.9%となっており、製造業、サービス業で特に多い

図表2 今年の非正規雇用者の賃金単価の増減（昨年比）



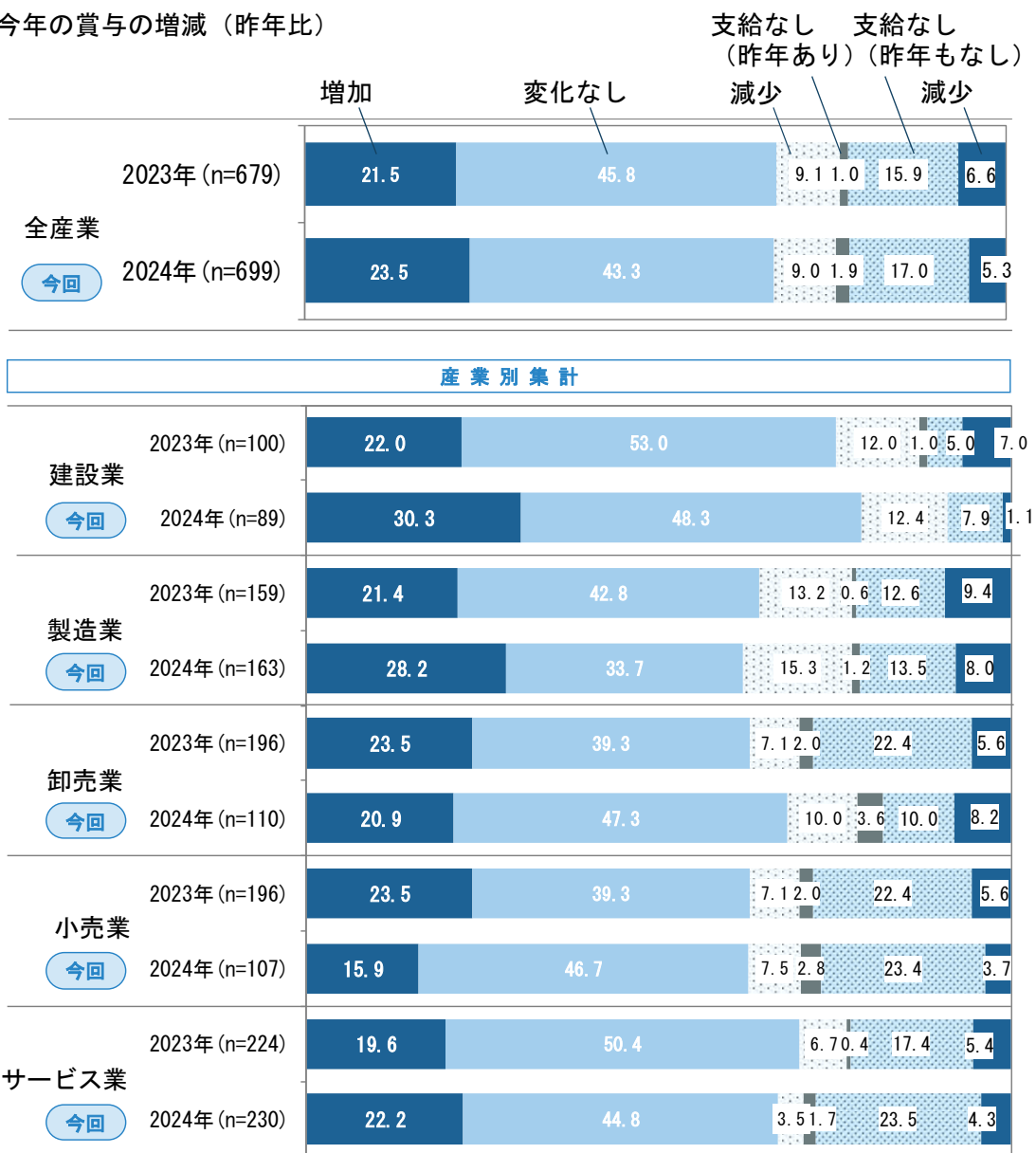
(1) 今年の賃上げ見通しについて

③ 質問 今年1年間の賞与の増減は？【単一回答】

回答 23.5%が「増加」と回答。2023年に比べて2ポイント増加

- 要点**
- ① 「増加」との回答は建設業、製造業、サービス業で増えている
 - ② 「増加」との回答は小売業で減っている

図表3 今年の賞与の増減（昨年比）



1. 特集アンケート

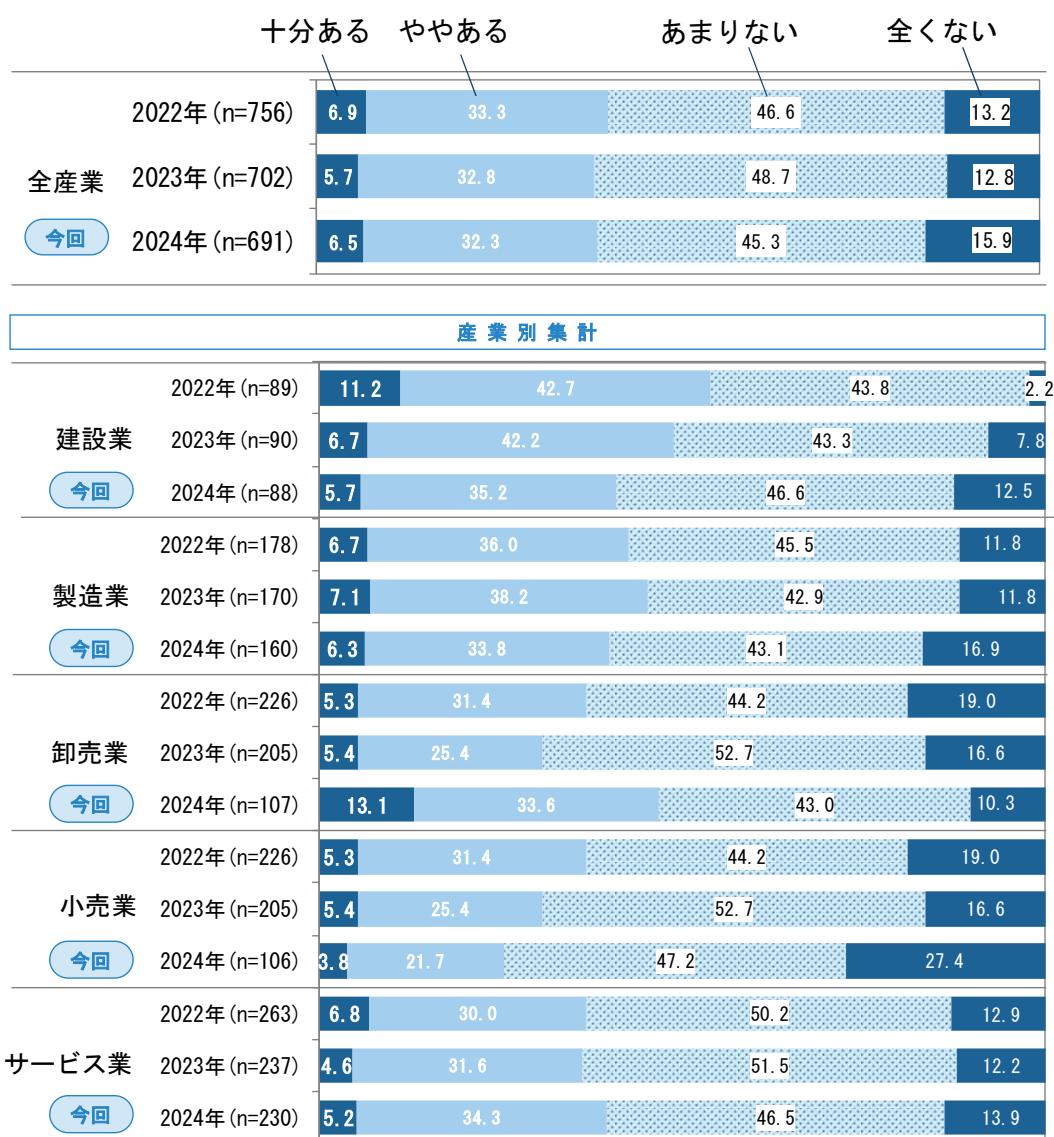
(1) 今年の賃上げ見通しについて

4 質問 今後の賃上げ余力の有無は？【単一回答】

回答 「十分ある」、「ややある」を合わせた割合は 38.8%で、前年から大差なし

- 要点**
- ① 「全くない」が 15.9%で、前年から 3.1 ポイント増加
 - ② 建設業、製造業、小売業において、「全くない」とする回答が増加

図表 4 今後の賃上げ余力の有無

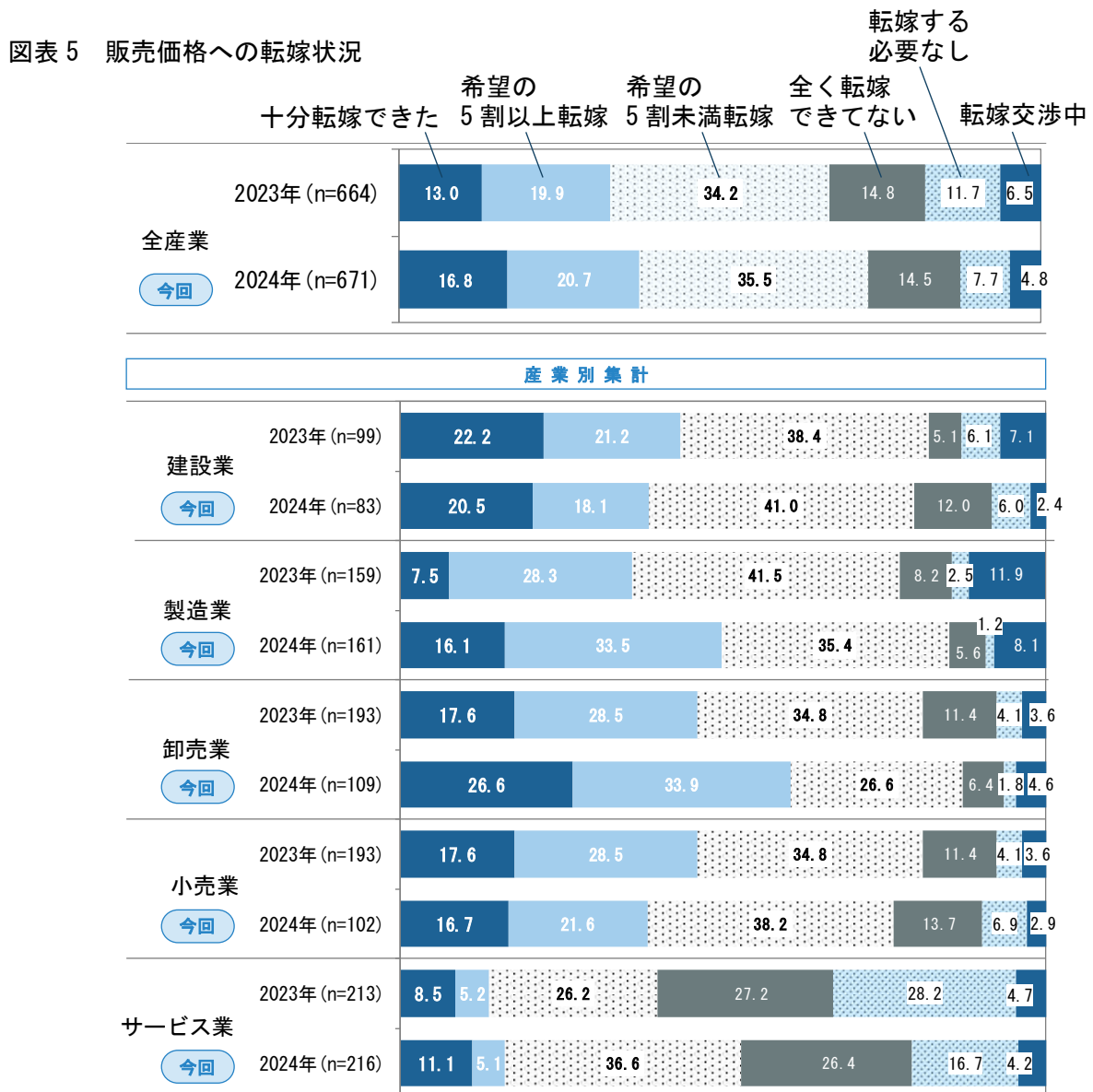


(2) 価格転嫁の状況について

5 質問 販売価格への転嫁状況は？【単一回答】

回答 「十分転嫁できた」は16.8%で、昨年から微増

- 要点
- ① 「十分転嫁できた」は製造業、卸売業等で増加
 - ② 建設業、小売業では「十分転嫁できた」、「希望の5割以上転嫁」が昨年に比べて減少



1. 特集アンケート

(2) 価格転嫁の状況について

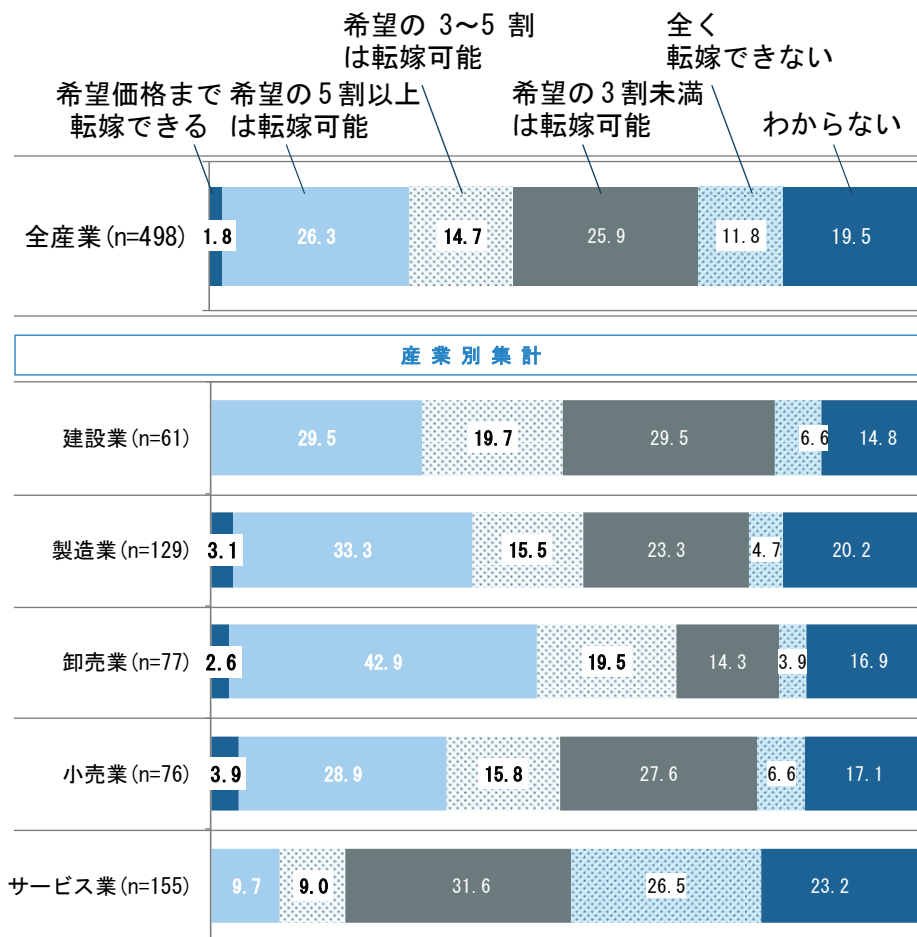
⑥ 質問 今後の販売価格への転嫁見込みは？【単一回答】

回答 「希望価格まで転嫁できる」は1.8%で、「希望の5割以上は転嫁可能」が26.3%

- 要点**
- ① 卸売業で「希望の5割以上は転嫁可能」が42.9%と多い
 - ② 「全く転嫁できない」はサービス業で26.5%と多い

図表6 今後の販売価格への転嫁見込み

(*) 質問⑤で「十分転嫁できている」、「転嫁する必要はない」以外の回答をした事業者のみに質問



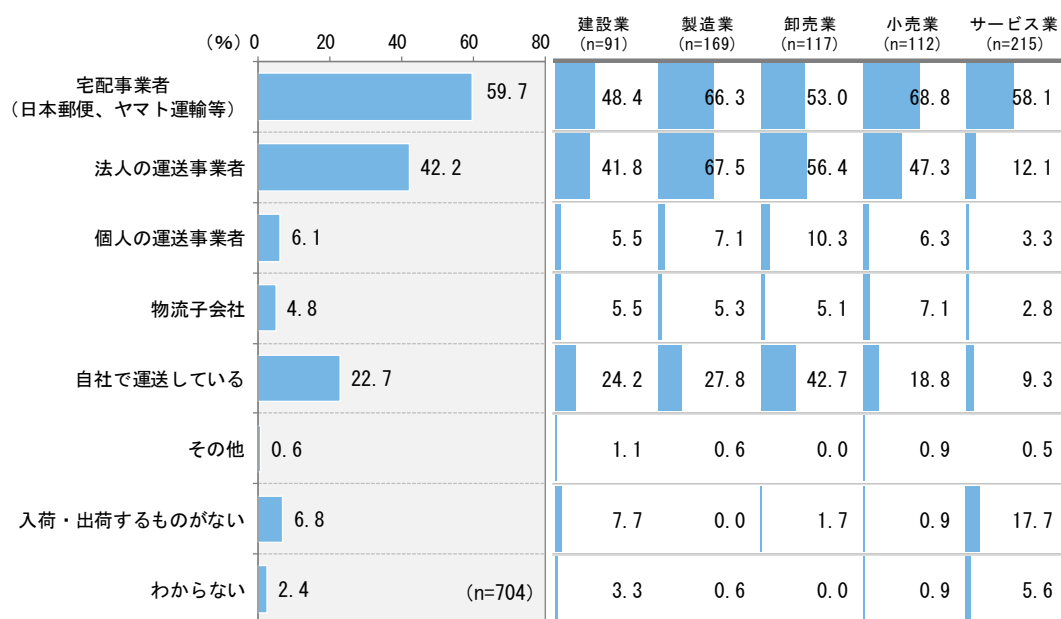
(3) 「物流の2024年問題」の影響と対応について

⑦ 質問 利用している運送事業者は？【複数回答】

回答 「宅配事業者」が59.7%で最多。「法人の運送事業者」が42.2%で次に多い

- 要点
- ① 製造業、卸売業では「法人の運送事業者」との回答が最も多い
 - ② 小売業では「宅配事業者」との回答が68.8%を占める
 - ③ 「自社で運送している」は22.7%で、卸売業では42.7%を占める

図表7 利用している運送事業者



1. 特集アンケート

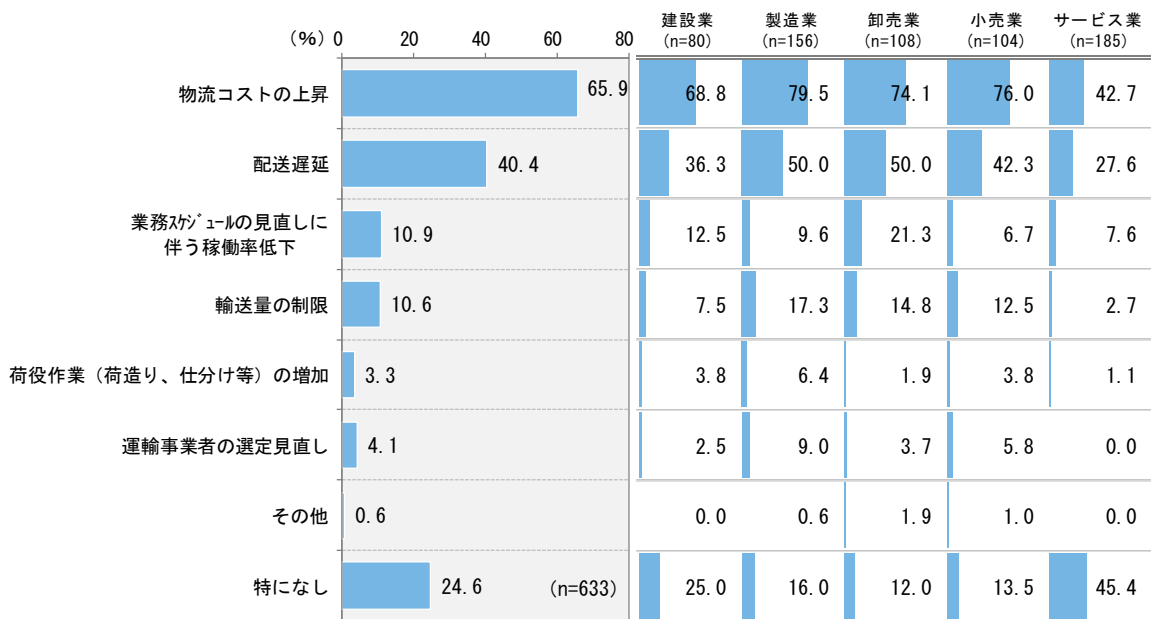
(3) 「物流の2024年問題」の影響と対応について

8 質問 「2024年問題」による悪影響はあるか？【複数回答】

回答 「物流コストの上昇」が65.9%で最多。「配送遅延」が40.4%で次に多い

- 要点**
- ① 「物流コストの上昇」は特に製造業、小売業、卸売業で多くなっている
 - ② 製造業、卸売業では「配送遅延」が半数を占める
 - ③ サービス業では「特になし」が約半数を占める

図表8 「2024年問題」による悪影響



(3) 「物流の2024年問題」の影響と対応について

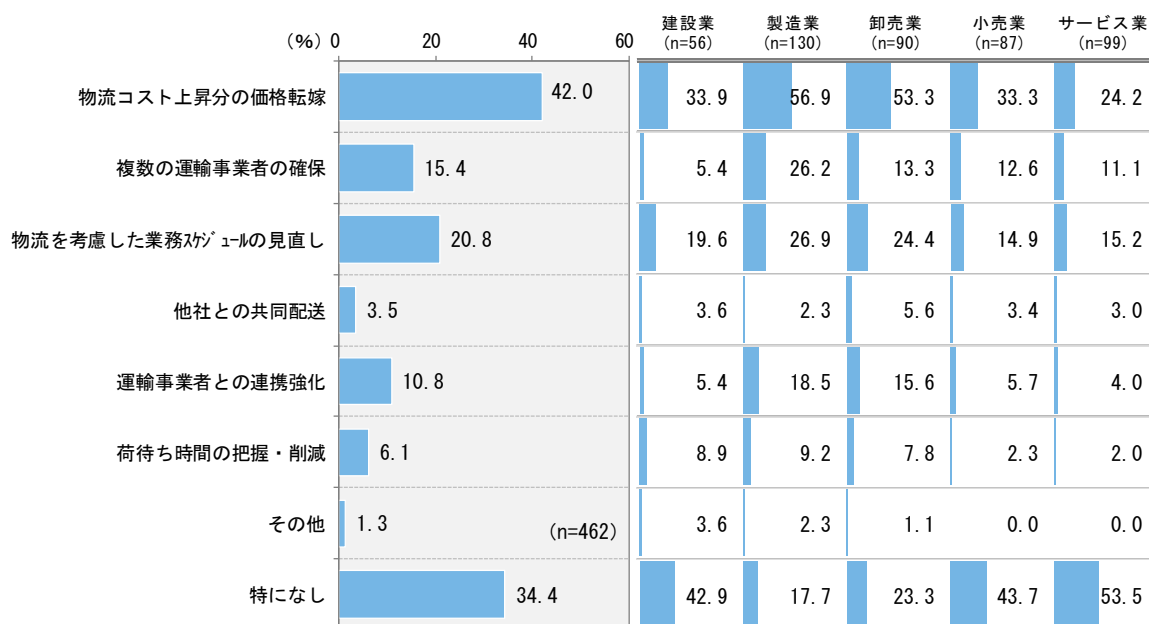
9 質問 「2024年問題」への対応策として実施していることは？【複数回答】

回答 「物流コスト上昇分の価格転嫁」が42.0%で最多。「特になし」が次に多い

要点

- ① 「物流コスト上昇分の価格転嫁」は製造業、卸売業では過半数を占める
- ② 製造業では「複数の運輸事業者の確保」、「物流を考慮した業務スケジュールの見直し」、「運輸事業者との連携強化」との回答が他産業に比べて多い
- ③ サービス業、小売業、建設業で「特になし」との回答が多い

図表9 「2024年問題」への対応策として実施していること（予定含む）



1. 特集アンケート

(3) 「物流の2024年問題」の影響と対応について

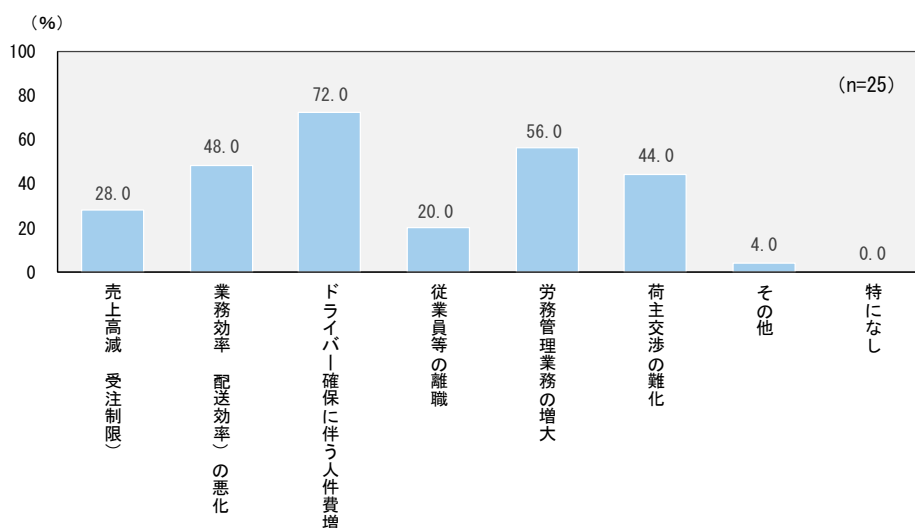
10 質問 貨物運輸事業者における「2024年問題」の影響と対応策【複数回答】

回答 悪影響としては「ドライバー確保に伴う人件費増」が72.0%で最多

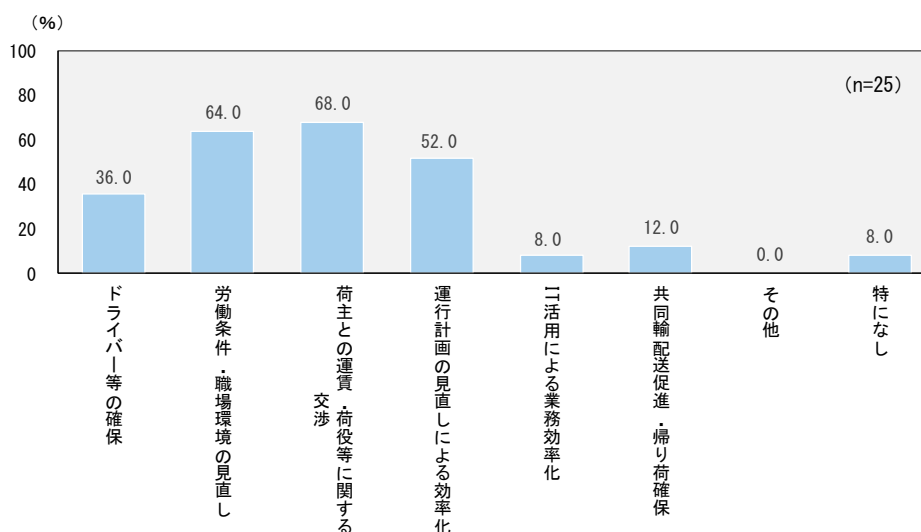
要点

- ① 「2024年問題」の悪影響では、「ドライバー確保に伴う人件費増」が72.0%で最多。「労務管理業務の増大」が56.0%で次に多く、「業務効率（配送効率）の悪化」が48.0%で続く。
- ② 「2024年問題」への対応策では、「荷主との運賃・荷役等に関する交渉」が68.0%で最多。「労働条件・職場環境の見直し」、「運行計画の見直しによる効率化」が次に多い

図表 10-1 「2024年問題」による悪影響【貨物運輸事業者の場合】



図表 10-2 「2024年問題」の対応策【貨物運輸事業者の場合】



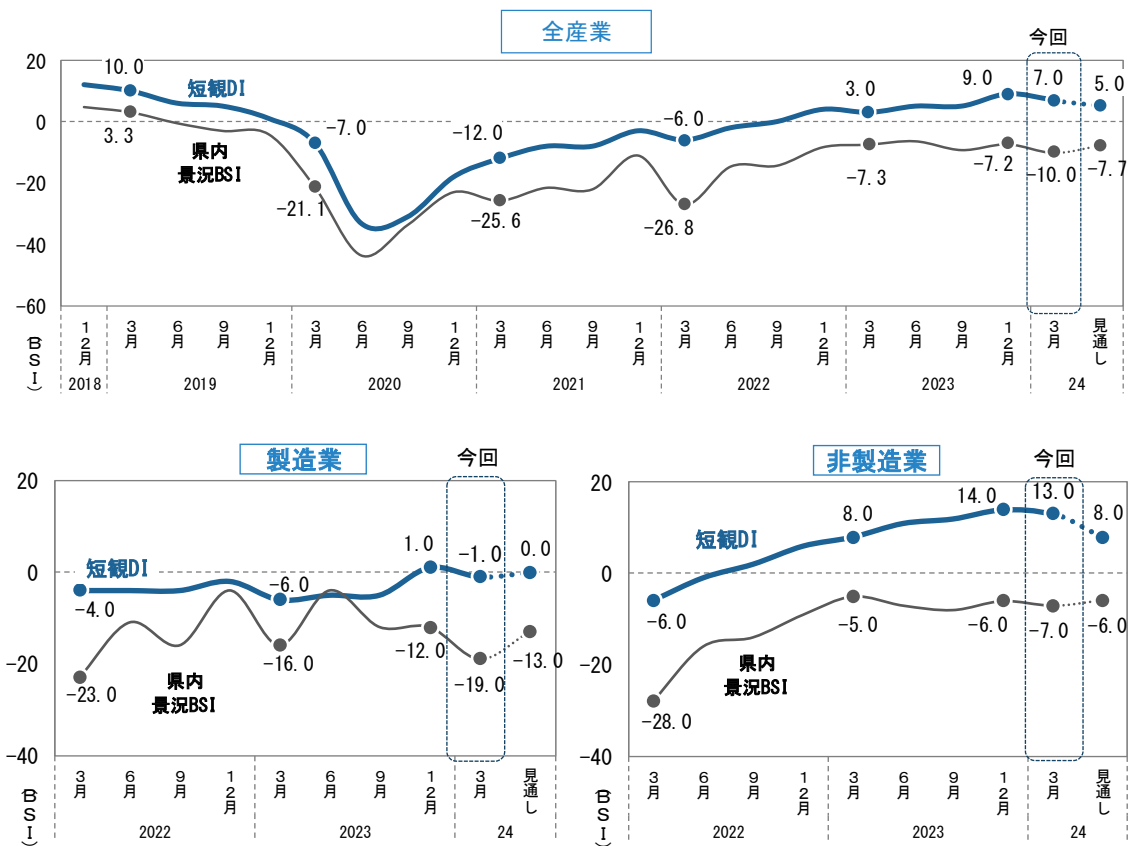
2. 全国の景気動向

① 日銀短観で見る全国の景気概況

総括 日本国内の景況感を示す短観DI（中小企業）は4期ぶりに下降（下降幅は2ポイント）
和歌山県内の景況感を示す県内景況BSIは2期ぶりに下降（下降幅は2.8ポイント）

- 要点**
- ① 短観DIは、一部メーカーによる生産停止もあり、自動車工業での下降が響いた
 - ② 製造業は、県内景況BSIの方が短観DIよりも下降幅は大きい
 - ③ 非製造業は、短観DIが小売業・個人向けサービス業の業況悪化で1ポイント下降し、県内景況BSIは建設業の業況悪化で1ポイント下降した

図表 日銀短観DI（中小企業）と県内景況BSIの推移



② 2024年1～3月における主な出来事

1月	石川県能登地方を震源とするM7.6の地震が発生（令和6年能登半島地震）（1日） 日経平均株価が約34年ぶりに3万5000円台を回復（11日） 自民党政治資金パーティ裏金事件で安倍、二階、岸田の3派閥が解散する方針決定（19日）
2月	日経平均株価が3万9098円68銭となり、34年2か月ぶりに史上最高値を更新（8日） ダイハツ、一部車種の生産再開。試験不正で国内全工場の稼働停止以降では初（12日） 内閣府が2023年のGDP速報値を発表。ドル換算でドイツに抜かれ世界4位に（15日） 半導体の受託製造で世界最大手のTSMCが熊本県の工場を開所式を行う（25日）
3月	米国大統領選挙に向けた共和党候補者選びで、トランプ前大統領の指名がほぼ確実に（4日） 日経平均株価、終値で初めて4万円台の大台に乗せる（4日） スペースワン社が和歌山県串本町で小型ロケットを発射するも直後に飛行を安全に中断（13日） 日本銀行が金融政策決定会合でマイナス金利政策の解除を決定。17年ぶりの利上げ（19日） 小林製薬は健康被害があったとして紅麹の成分を含んだ5製品の自主回収を発表（22日） モスクワ郊外のコンサートホールで銃撃事件が発生し、140人超が死亡（22日）

3. 和歌山県内の景気動向

① 全産業の景況感

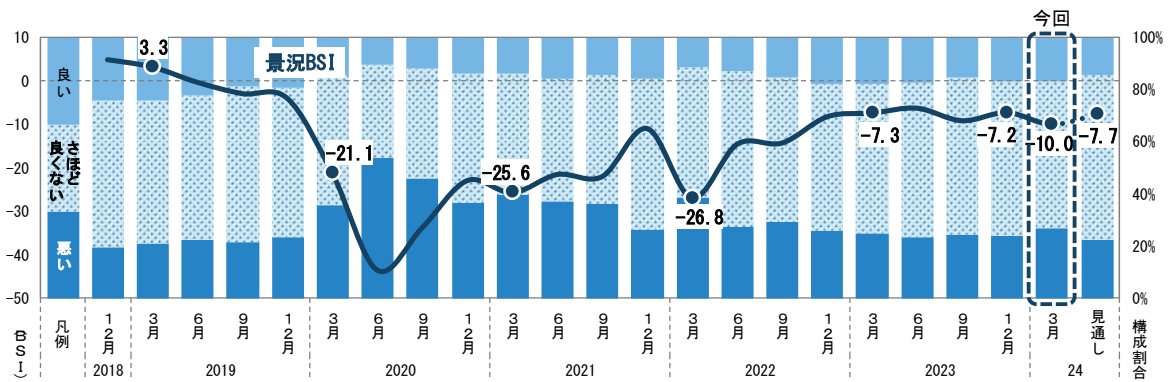
総括

景況 BSI は 2.8 ポイント下降。建設業、製造業での業況悪化が響いた
県内景気は足下で弱含んでいる

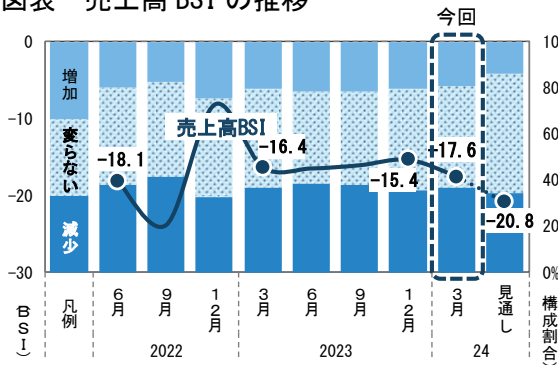
要点

- ① 人手不足やコストアップもあり、建設業で景況 BSI が下降
- ② 製造業は県全体で低調な動きが続く
- ③ 小売業、サービス業の景況 BSI は持ち直しの動きが続く

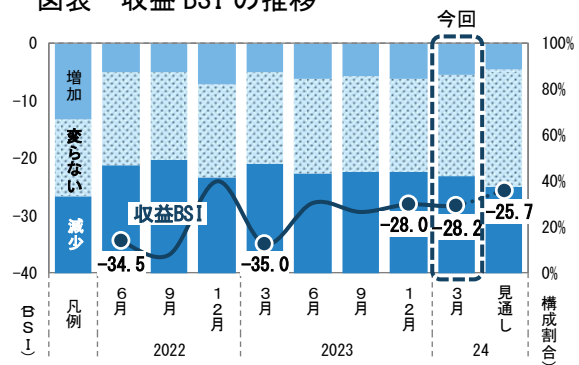
図表 景況 BSI の推移



図表 売上高 BSI の推移



図表 収益 BSI の推移



図表 その他の重要指標

	2022			2023			2024	
	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6
	過去実績						今回	見通し
仕入価格 前期比	73.2	71.2	67.5	59.6	59.7	58.7	56.7	51.5
販売価格 前期比	36.9	34.7	31.1	27.9	29.0	25.9	27.4	25.4
在庫 前期比	0.5	5.6	1.7	1.6	-3.1	-0.3	0.8	-3.0
資金繰り 前期比	-14.4	-10.2	-12.7	-10.7	-9.7	-9.6	-11.0	-7.3
借入 前期比	-5.3	-5.9	-5.7	-7.6	-8.0	-4.6	-5.6	-6.8
所定外労働時間 前期比	-9.9	-2.9	-5.3	-10.9	-9.1	-3.7	-9.7	-9.3
雇用者数 前期比	-4.7	-3.6	-5.1	-4.3	-4.5	-5.8	-4.1	5.1
雇用適正度(値が低いほど「不足」)	-27.4	-32.7	-32.1	-28.4	-28.4	-37.3	-30.7	(調査なし)
設備投資実施比率 (%)	23.0	22.2	22.0	23.0	23.7	23.7	21.6	26.1

(*) 図表内の矢印は値の変化を示す。

図表 産業別 景況 BSI の推移

	2022		2023				2024	
	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6
	過去実績						今回	見通し
全産業	-14.2 ↗	-8.2 ↗	-7.3 ↗	-6.2 ↘	-9.1 ↗	-7.2 ↘	-10.0 ↘	-7.7 ↗
建設業	-1.1 ↘	-2.2 ↗	0.0 ↘	-1.1 ↗	0.0 ↗	10.5 ↘	-1.2 ↘	-4.7 ↘
製造業	-16.2 ↗	-4.3 ↘	-15.8 ↗	-3.6 ↘	-12.3 ↘	-12.4 ↘	-19.2 ↘	-13.4 ↗
卸売業	-16.5 ↗	-5.0 ↗	0.0 ↘	-13.1 ↗	-11.1 ↗	-6.5 ↗	-7.0 ↘	-11.9 ↘
小売業	-32.5 ↗	-32.0 ↗	-13.7 ↘	-20.4 ↗	-17.0 ↘	-28.7 ↘	-23.4 ↗	-20.4 ↗
サービス業	-8.8 ↗	-4.3 ↘	-5.2 ↗	0.0 ↘	-6.2 ↗	-3.6 ↗	-2.0 ↗	3.0 ↗

(*) 図表内の矢印は値の変化を示す。

図表 従業員規模別 景況 BSI の推移

	2022		2023				2024	
	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6
	過去実績						今回	見通し
全体	-14.2 ↗	-8.2 ↗	-7.3 ↗	-6.2 ↘	-9.1 ↗	-7.2 ↘	-10.0 ↘	-7.7 ↗
4人以下	-28.8 ↗	-18.8 ↗	-9.6 ↘	-11.9 ↘	-16.9 ↘	-22.6 ↘	-22.3 ↗	-21.9 ↗
5~9人	-15.7 ↗	-12.2 ↗	-5.3 ↘	-17.4 ↗	-14.6 ↗	-9.0 ↗	-14.7 ↗	-13.4 ↗
10~19人	0.0 ↘	-5.4 ↘	-10.3 ↗	-1.3 ↘	-8.3 ↗	-2.0 ↗	-8.5 ↘	-10.1 ↘
20~29人	-22.7 ↗	-11.4 ↗	-8.5 ↗	-6.2 ↘	-8.3 ↗	0.0 ↗	-10.5 ↘	5.6 ↗
30~49人	-6.4 ↗	-2.9 ↘	-10.1 ↗	5.9 ↘	-1.2 ↗	1.5 ↗	1.4 ↗	1.4 ↗
50~99人	-5.0 ↗	19.4 ↘	-5.0 ↗	19.4 ↘	12.5 ↘	12.2 ↗	20.0 ↗	18.6 ↘
100人以上	1.5 ⇨	1.5 ↗	6.1 ↘	-3.0 ↗	-2.9 ↗	1.4 ↗	-3.1 ↗	0.0 ↗

(*) 図表内の矢印は値の変化を示す。

図表 地域別 景況 BSI の推移

	2022		2023				2024	
	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6
	過去実績						今回	見通し
和歌山市	-16.9 ↗	-5.7 ↗	-5.1 ↗	-4.7 ↘	-9.8 ↗	-1.5 ↗	-7.7 ↘	-7.8 ↘
紀北地域	-14.6 ↗	-12.9 ↗	-12.1 ↗	-10.6 ↘	-13.6 ↘	-23.0 ↘	-16.0 ↗	-9.6 ↗
紀中地域	-14.8 ↗	-8.7 ↘	-9.0 ↗	-1.0 ↘	-5.2 ↗	-3.3 ↗	-11.6 ↘	-6.7 ↗
紀南地域	-7.8 ↘	-8.5 ↗	-5.9 ↘	-8.2 ↗	-5.4 ↘	-5.8 ↘	-7.2 ↘	-6.1 ↗

(*) 図表内の矢印は値の変化を示す。

(参考) 図表の見方

景況 BSI	景気を「良い」とした事業者割合から「悪い」とした割合を引き算
売上高 BSI	前期に比べて売上高が「増加」した事業者割合から「減少」の割合を引き算
収益 BSI	前期に比べて収益が「増加」した事業者割合から「減少」の割合を引き算
仕入価格 BSI	前期に比べて仕入価格が「上昇」した事業者割合から「下降」の割合を引き算
販売価格 BSI	前期に比べて販売価格が「上昇」した事業者割合から「下降」の割合を引き算
在庫 BSI	前期に比べて在庫が「増加」した事業者割合から「減少」の割合を引き算
資金繰り BSI	前期に比べて資金繰りが「改善」した事業者割合から「悪化」の割合を引き算
借入 BSI	前期に比べて借入が「増加」した事業者割合から「減少」の割合を引き算
所定外労働時間 BSI	前期に比べて残業時間が「増加」した事業者割合から「減少」の割合を引き算
雇用者数 BSI	前期に比べて雇用者数が「増加」した事業者割合から「減少」の割合を引き算
雇用適正度	従業員数が「過剰」と回答した事業者割合から「不足」の割合を引き算
設備投資実施比率	当該期間において、設備投資を実施した事業者の割合

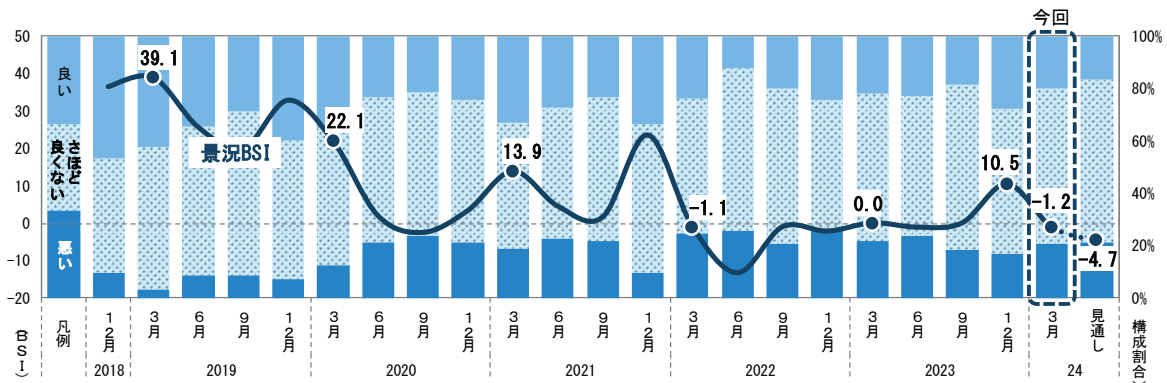
3. 和歌山県内の景気動向

② 建設業の景況感

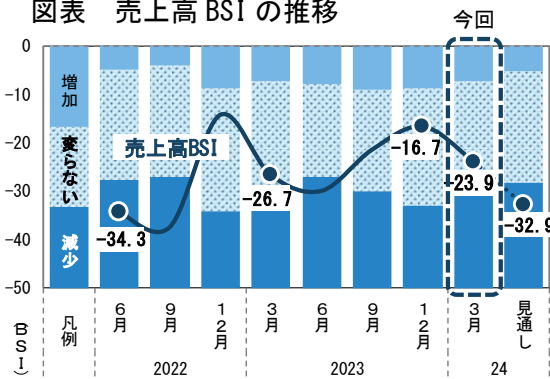
総括 景況 BSI は 11.7 ポイントの大幅下降。前回調査の大幅上昇からは一転

- 要点
- ① 景況 BSI は大幅下降。総合工事業、職別工事業、設備工事業の景況 BSI がそろって下降
 - ② 売上高・収益に関する各 BSI は低い水準で推移
 - ③ 設備投資実施比率が 7.0% と低く、各種コストアップが要因と考えられる
 - ④ 人手不足感が非常に強い（雇用適正度が非常に低い）

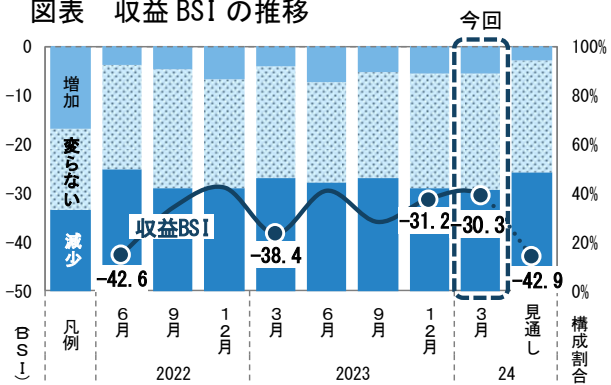
図表 景況 BSI の推移



図表 売上高 BSI の推移



図表 収益 BSI の推移



図表 その他の重要指標

	2022			2023			2024	
	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6
	過去実績						今回	見通し
仕入価格 前期比	73.4	71.3	72.9	64.4	60.7	58.5	54.5	51.8
販売価格 前期比	(調査なし)						(調査なし)	
在庫 前期比	(調査なし)						(調査なし)	
資金繰り 前期比	-3.1	1.1	-6.9	-9.9	-4.3	-5.6	0.0	-3.5
借入 前期比	-1.0	-4.5	3.1	-4.7	-6.9	-2.8	-4.8	-2.4
所定外労働時間 前期比	-17.7	-1.1	-8.0	-27.2	-23.9	-10.2	-3.3	-9.4
雇用者数 前期比	2.1	-1.1	-2.0	-7.9	-7.8	-2.8	-6.7	6.0
雇用適正度 (値が低いほど「不足」)	-40.2	-40.0	-50.5	-36.9	-36.7	-51.5	-44.3	(調査なし)
設備投資実施比率 (%)	29.0	19.5	22.6	11.5	18.0	20.8	7.0	23.1

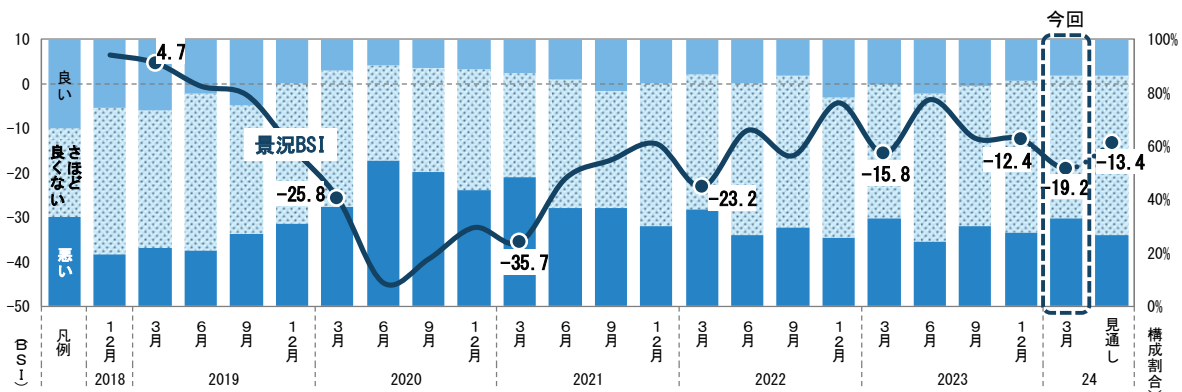
(*) 図表内の矢印は値の変化を示す。

3 製造業の景況感

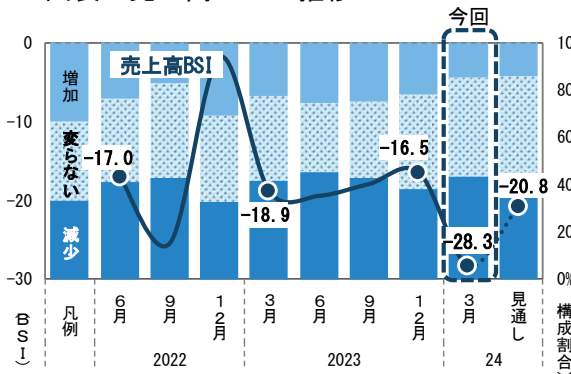
総括 景況 BSI は 2 期ぶりに下降（下降幅は 6.8 ポイント）。約 2 年ぶりの低水準

- 要点
- ① 食料品製造業で業況は底堅く推移しているが、繊維製品製造業、化学製品製造業、鉄鋼・金属製品製造業で景況 BSI が下降
 - ② 県内大手メーカーの生産稼働状況は低調で、そのことによる悪影響も景況 BSI 下降の要因と考えられる
 - ③ 仕入価格の上昇懸念は依然として強い

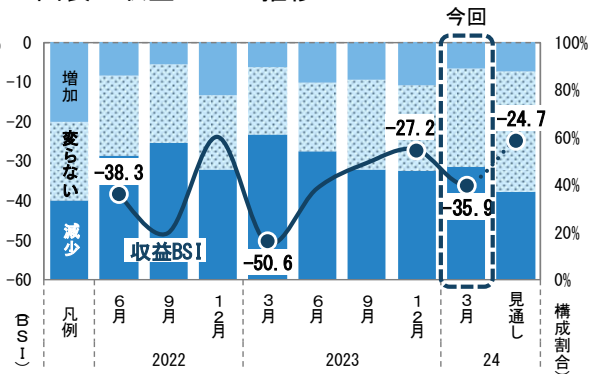
図表 景況 BSI の推移



図表 売上高 BSI の推移



図表 収益 BSI の推移



図表 その他の重要指標

	2022			2023			2024	
	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6
	過去実績						今回	見通し
仕入価格 前期比	78.6	71.0	72.4	59.4	55.5	56.5	55.4	50.3
販売価格 前期比	29.2	28.1	28.7	20.1	24.4	22.6	16.9	18.7
在庫 前期比	-1.1	2.5	8.0	4.1	1.2	2.4	3.0	5.2
資金繰り 前期比	-18.2	-6.8	-16.6	-16.0	-9.8	-12.0	-16.7	-13.3
借入 前期比	-4.4	0.0	-1.9	-11.4	0.0	1.2	-8.0	-5.2
所定外労働時間 前期比	-12.8	-1.9	-8.6	-12.9	-15.6	-7.1	-14.9	-10.1
雇用者数 前期比	-6.5	1.9	-2.4	-1.2	-4.1	-1.8	-6.0	6.3
雇用適正度(値が低いほど「不足」)	-21.7	-25.9	-27.2	-22.2	-16.0	-26.1	-19.5	(調査なし)
設備投資実施比率 (%)	20.4	29.7	23.0	27.4	29.4	30.9	26.5	28.5

(*) 図表内の矢印は値の変化を示す。

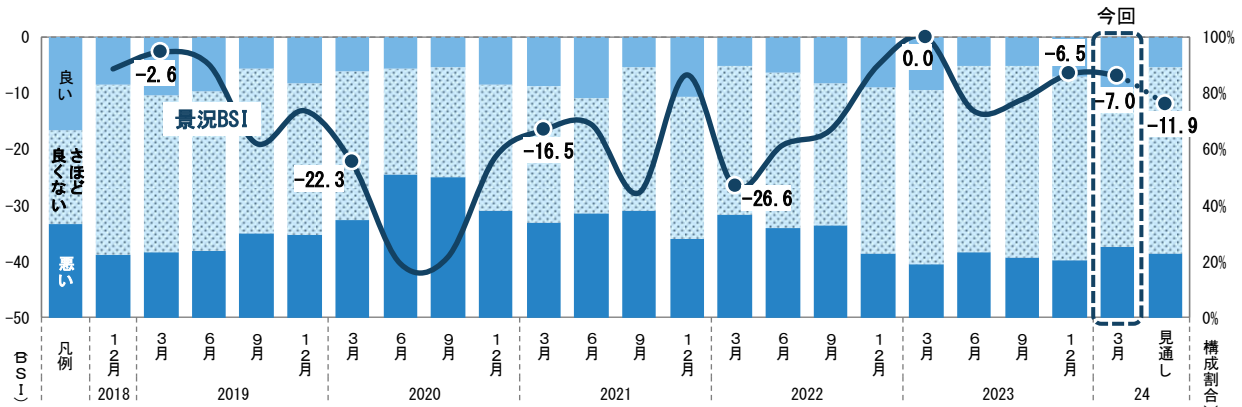
3. 和歌山県内の景気動向

4 卸売業の景況感

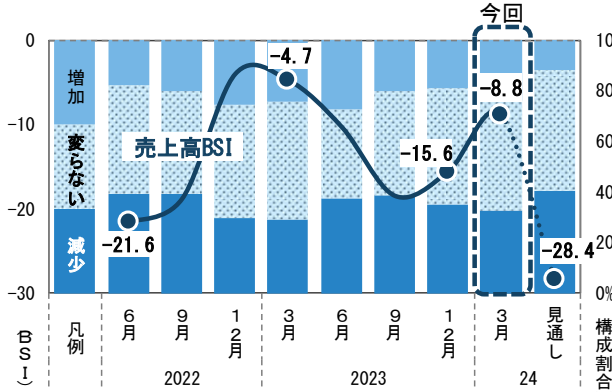
総括 景況 BSI は 0.5 ポイント下降（下降は 3 期ぶり）

- 要点
- ① 飲食料品卸売業、機械器具卸売業で景況 BSI がプラス水準まで上昇
 - ② 建築材料卸売業で景況 BSI が下降
 - ③ 人手不足感がやや強まっている（雇用適正度が低下）

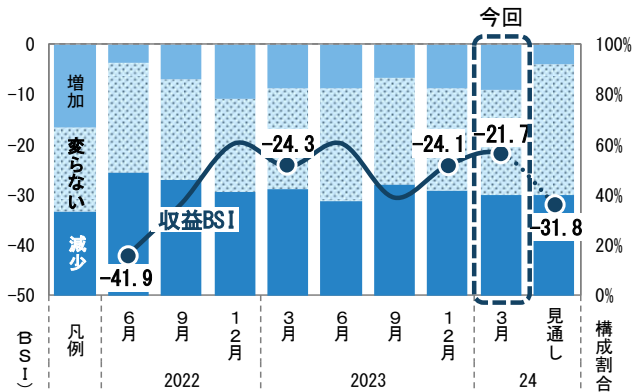
図表 景況 BSI の推移



図表 売上高 BSI の推移



図表 収益 BSI の推移



図表 その他の重要指標

	2022		2023				2024	
	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6
	過去実績							
	今回						見通し	
仕入価格 前期比	80.8	80.4	67.3	57.0	59.8	55.0	58.8	52.3
販売価格 前期比	54.2	53.0	41.1	42.1	31.9	29.6	41.6	35.5
在庫 前期比	12.8	24.0	-1.9	-1.9	-4.4	-6.5	2.7	-5.6
資金繰り 前期比	-12.3	-9.8	-3.8	-2.8	-7.6	-9.1	-12.9	-9.9
借入 前期比	0.0	-3.9	-3.8	-10.2	-13.0	-9.4	-1.8	-3.7
所定外労働時間 前期比	-10.9	-3.9	-7.5	-9.2	-7.6	-12.8	-12.1	-10.9
雇用者数 前期比	-0.8	1.0	-1.0	0.0	-0.8	-8.3	-1.8	0.9
雇用適正度 <small>値が低いほど「不足」</small>	-13.7	-25.5	-21.9	-15.9	-16.8	-31.4	-32.4	(調査なし)
設備投資実施比率 (%)	16.1	20.4	17.3	24.8	23.1	22.9	14.4	19.8

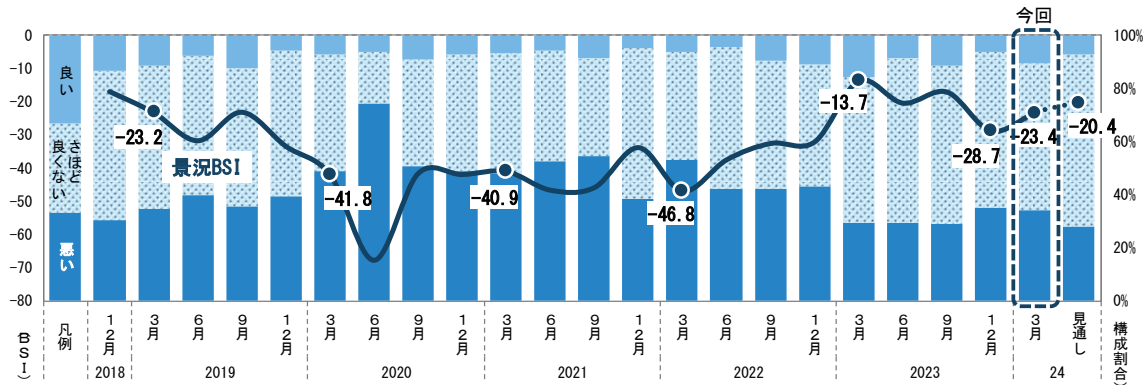
(*) 図表内の矢印は値の変化を示す。

5 小売業の景況感

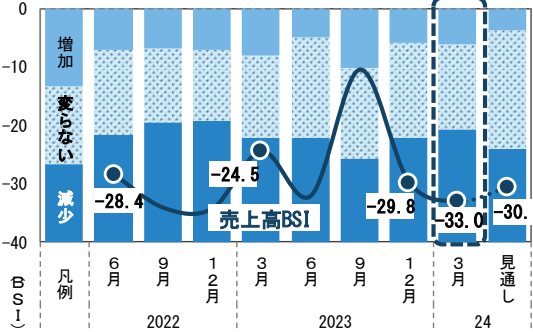
総括 景況 BSI は 5.3 ポイント上昇（上昇は 2 期ぶり）

- 要点
- ① 飲食料品小売業、生活・文化用品小売業で景況 BSI が上昇
 - ② 売上高・収益の各 BSI は低い水準で推移
 - ③ 人手不足感が依然として強い（雇用適正度が低水準で推移）

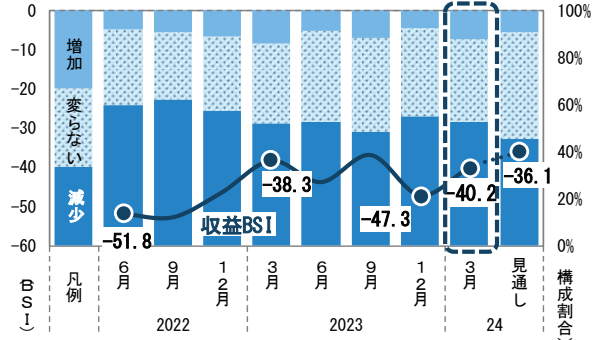
図表 景況 BSI の推移



図表 売上高 BSI の推移



図表 収益 BSI の推移



図表 その他の重要指標

	2022			2023			2024	
	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3 今回	4-6 見通し
仕入価格 前期比	56.4	62.0	53.7	58.8	66.3	67.0	58.0	52.3
販売価格 前期比	31.6	27.0	24.2	26.3	33.7	27.7	28.8	24.8
在庫 前期比	-9.5	-8.2	-5.3	0.9	-9.6	2.2	-4.5	-12.0
資金繰り 前期比	-30.4	-28.7	-17.0	-20.4	-20.2	-14.7	-15.3	-9.3
借入 前期比	-16.7	-4.0	-13.7	-10.0	-7.8	-12.2	-15.7	-16.2
所定外労働時間 前期比	-11.2	-8.8	-2.1	-9.6	-3.2	-2.1	-9.8	-13.9
雇用者数 前期比	-1.7	-10.0	-5.4	-8.0	-4.3	-3.2	0.0	3.7
雇用適正度 <small>(値が低いほど「不足」)</small>	-23.9	-26.0	-21.7	-21.6	-26.1	-33.0	-30.0	(調査なし)
設備投資実施比率 (%)	21.1	14.1	19.6	17.3	20.5	16.1	20.2	22.3

(*) 図表内の矢印は値の変化を示す。

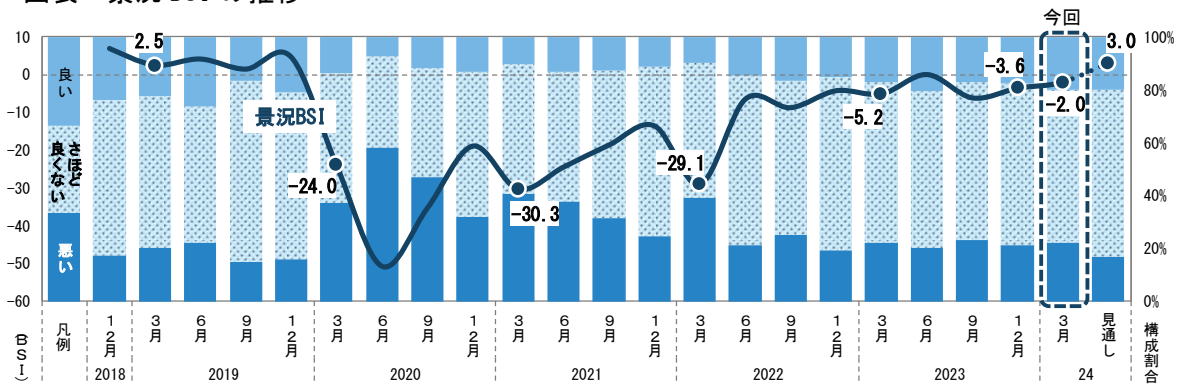
3. 和歌山県内の景気動向

6 サービス業の景況感

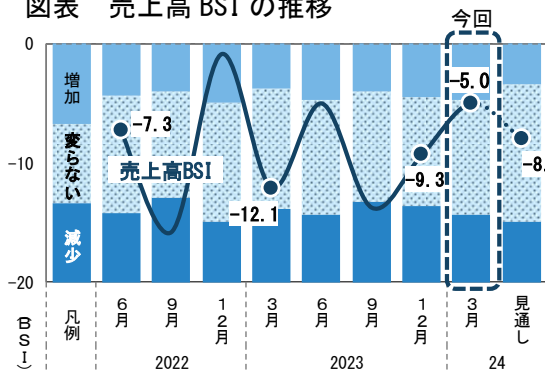
総括 幅広い業種で業況が改善し、景況 BSI は 2 期連続で上昇

- 要点
- ① 運輸業、旅館・ホテル業などで業況が改善
 - ② 売上高 BSI、収益 BSI とともに 2 期連続で上昇
 - ③ 人手不足感ははやや緩和（雇用適正度が上昇）

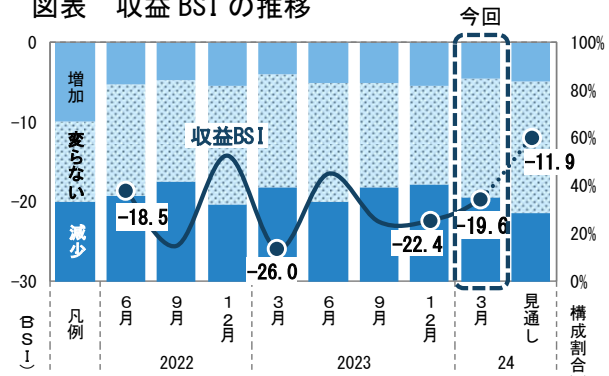
図表 景況 BSI の推移



図表 売上高 BSI の推移



図表 収益 BSI の推移



図表 その他の重要指標

	2022		2023				2024	
	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6
	過去実績						今回	見通し
仕入価格 前期比	(調査なし)						(調査なし)	(調査なし)
販売価格 前期比	(調査なし)						(調査なし)	(調査なし)
在庫 前期比	(調査なし)						(調査なし)	(調査なし)
資金繰り 前期比	-9.9	-9.2	-14.8	-6.3	-8.7	-8.3	-8.3	-2.2
借入 前期比	-4.9	-12.3	-9.9	-3.5	-11.8	-4.5	-1.3	-6.7
所定外労働時間 前期比	-4.0	-1.3	-2.2	-4.6	-2.0	4.0	-7.4	-5.7
雇用者数 前期比	-8.8	-7.6	-10.1	-5.4	-5.3	-9.4	-4.9	6.6
雇用適正度 ^{値が低いほど「不足」}	-34.3	-40.5	-36.8	-38.9	-40.6	-42.6	-33.1	(調査なし)
設備投資実施比率 (%)	26.6	22.5	24.4	26.2	23.4	23.4	27.7	30.1

(*) 図表内の矢印は値の変化を示す。

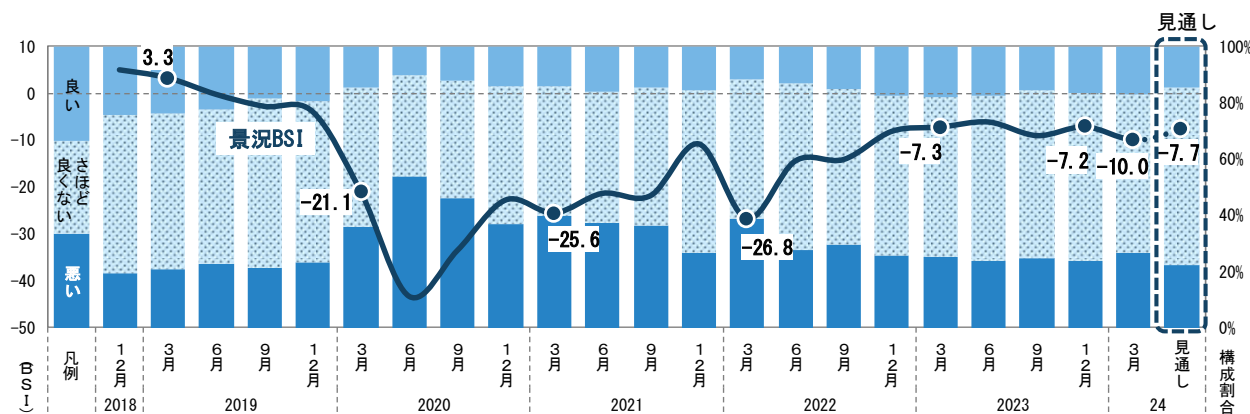
4. 今後の景気の見通し

① 見通し

総括 国内経済が緩やかに持ち直す見込みの中で、県内景況 BSI は弱含む模様

- 要点**
- ① 国内経済は賃上げの動きが広がり、2024 年度も緩やかな持ち直しの動きが見込まれる
 - ② 県内経済は、旅館・ホテル業、飲食業、小売業の業況の改善続くも、その他の業種で停滞感が見られ、景況 BSI は弱含む模様。

図表 景況 BSI の推移



② 国内主要シンクタンクによる国内経済見通し (実質 GDP 成長率[対前年比])

	2023 年度	2024 年度	ポイント
第一生命経済研究所	+1.3%	+0.3%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 24 年度前半はけん引役不在の中で回復感に欠ける。さらに、高い物価上昇率の結果、実質賃金の伸びは弱い ・ 24 年度後半になると、物価上昇率の鈍化もあり、実質賃金が増加し、個人消費が持ち直す
大和総研	+1.4%	+0.9%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車の挽回生産、インバウンド需要の増加、サービス消費の回復、高水準の家計貯蓄、シリコンサイクルの回復、所得減税を含む総合経済対策が日本経済を下支え
三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング	+1.2%	+0.7%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実質賃金の改善が進み、個人消費の腰折れは回避 ・ 業績改善を背景に企業の投資意欲の強さが維持され、設備投資は底堅い ・ 海外経済の下振れリスクが薄らぎ、自動車の生産回復で輸出増加が期待される
ニッセイ基礎研究所	+1.3%	+1.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 賃上げの本格化と物価上昇率の鈍化を受けた実質所得の増加から民間消費が回復 ・ 高水準の企業収益を背景に設備投資が堅調に推移

5. 経営上の問題点

総括 「売上不振」が再び3割を下回る

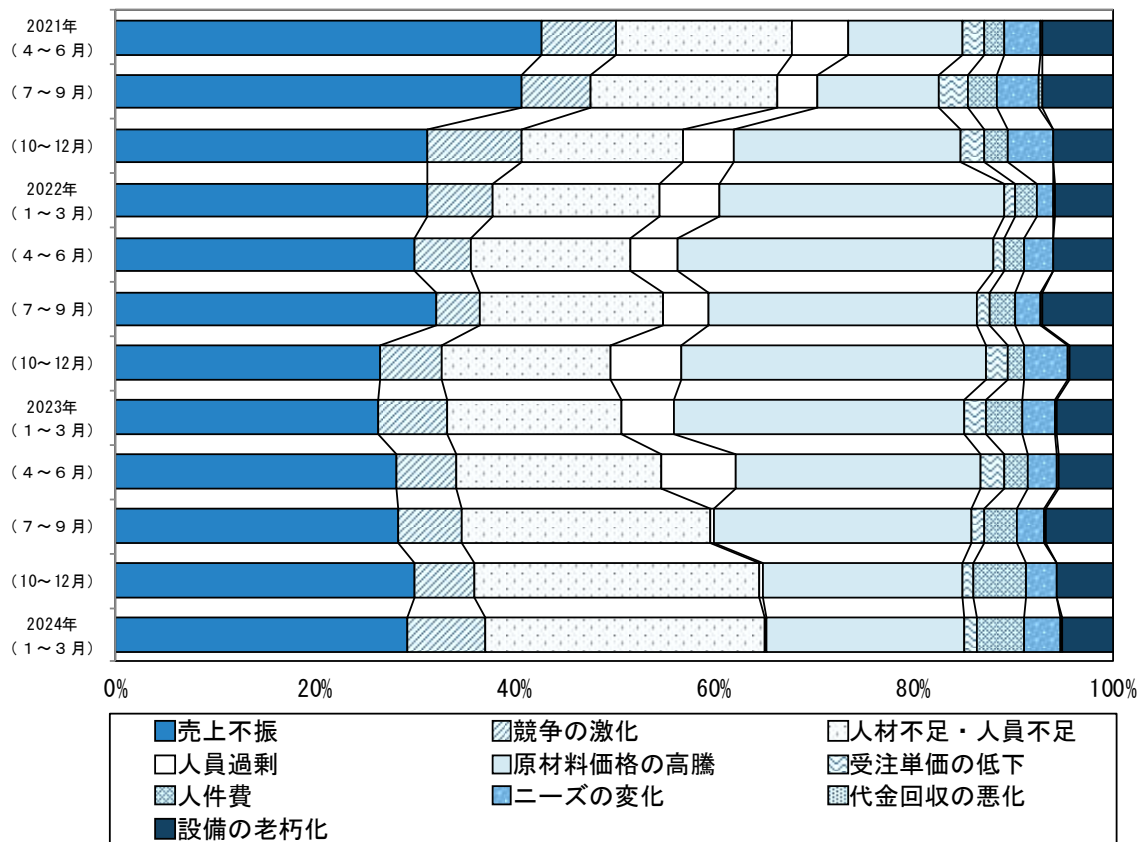
- ① 1位は「売上不振」。前回から0.7ポイント減少
 ② 2位は「人材不足・人員不足」。前回から0.5ポイント減少。ただし、建設業では増加
 ③ 3位は「原材料価格の高騰」。前回から0.3ポイント減少。ただし、製造業では増加

経営上の問題点（主なもの）

	1位	2位	3位	4位
前々回 (2023年7~9月)	売上不振 28.3%	原材料価格の高騰 25.7%	人材不足・人員不足 24.9%	設備の老朽化 6.7%
前回 (2023年10~12月)	売上不振 30.0%	人材不足・人員不足 28.6%	原材料価格の高騰 20.1%	競争の激化 6.0%
今回 (2024年1~3月)	売上不振 29.3%	人材不足・人員不足 28.1%	原材料価格の高騰 19.8%	競争の激化 7.8%

注意 前々回調査より選択肢の一部を変更【変更前】「人材不足」 → 【変更後】「人材不足・人員不足」
 【変更前】「人員不足・人員過剰」 → 【変更後】「人員過剰」

経営上の問題点の推移

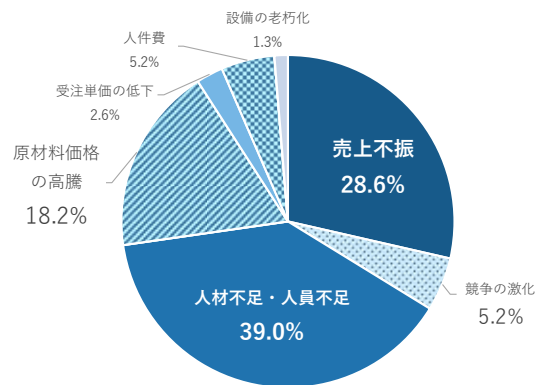


□ 産業別経営上の問題点（上位3項目）

（ ）内の丸数字は前回順位、数値は前回調査値

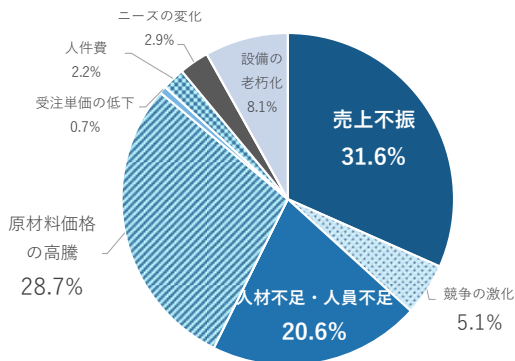
【建設業】「人材不足・人員不足」が1位

1. 人材不足・人員不足 … 39.0% (①43.0%)
2. 売上不振 … 28.6% (③20.4%)
3. 原材料価格の高騰 … 18.2% (②21.5%)



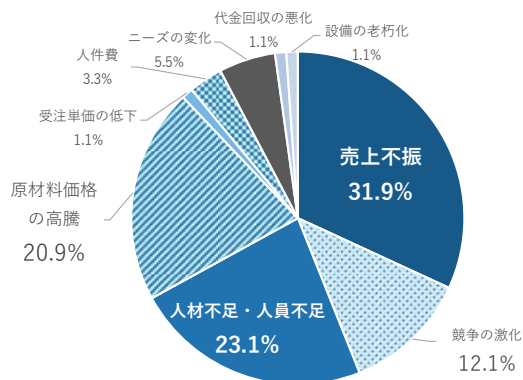
【製造業】「売上不振」は5.1ポイント減

1. 売上不振 … 31.6% (①36.7%)
2. 原材料価格の高騰 … 28.7% (②23.7%)
3. 人材不足・人員不足 … 20.6% (③20.1%)



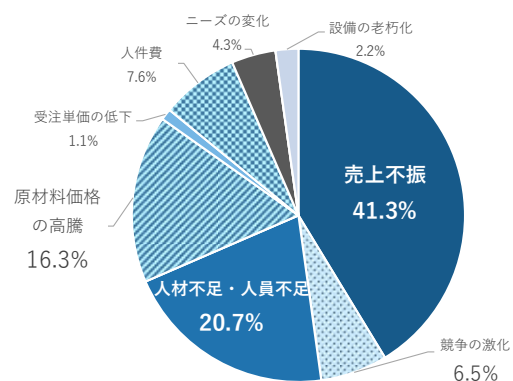
【卸売業】「人材不足・人員不足」が2位に浮上

1. 売上不振 … 31.9% (①40.6%)
2. 人材不足・人員不足 … 23.1% (③20.6%)
3. 原材料価格の高騰 … 20.9% (②23.8%)



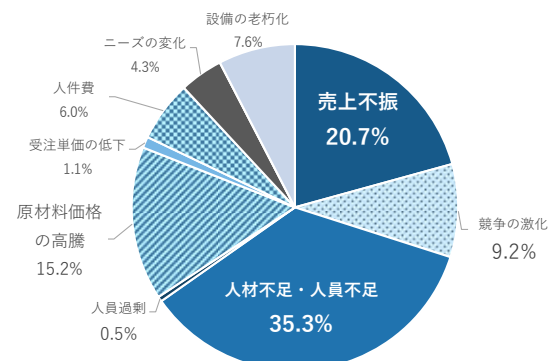
【小売業】「売上不振」が0.7ポイント増加

1. 売上不振 … 41.3% (①40.6%)
2. 人材不足・人員不足 … 20.7% (③20.6%)
3. 原材料価格の高騰 … 16.3% (②23.8%)



【サービス業】「人材不足・人員不足」が3割強

1. 人材不足・人員不足 … 35.3% (①34.0%)
2. 売上不振 … 20.7% (②21.5%)
3. 原材料価格の高騰 … 15.2% (③14.4%)



6. 県内経済指標

① 県内経済指標から見る和歌山県経済

総括

和歌山県経済は、個人消費は緩やかに持ち直しているが
企業活動には弱さが見られ、雇用環境に悪影響が及んでいる

要点

- ① 鉱工業生産指数の低迷が続いている
- ② 新車販売台数が3か月連続で前年を下回る
- ③ 有効求人倍率が1年前の水準を回復

□ グラフで見る和歌山県経済指標（データ基準月：2月 ※鉱工業生産指数は1月）

	鉱工業生産指数(2015年=100) *全国は2020年=100								有効求人倍率		充足率	
	全国	和歌山県	鉄鋼	機械	化学	石油石炭	繊維	食料品	全国(倍)	和歌山県(倍)	パートタイム除く(%)	パートタイム(%)
2018年	114.6	109.2	109.5	117.9	101.2	98.1	106.1	134.7	1.61	1.34	19.6	18.1
2019年	111.6	102.7	110.3	100.8	100.5	95.4	106.6	138.0	1.60	1.41	17.6	17.1
2020年	100.0	88.9	81.3	85.0	92.6	76.5	105.0	119.5	1.18	1.05	16.2	18.8
2021年	105.4	88.4	78.1	89.9	85.6	68.6	101.8	139.8	1.13	1.09	15.2	18.2
2022年	105.3	97.2	83.9	98.2	95.8	110.6	104.6	142.8	1.28	1.15	14.8	16.8
2023年1月	101.1	94.7	77.6	102.6	99.8	93.7	93.9	129.6	1.35	1.16	11.1	12.2
2月	104.5	88.2	72.7	104.1	75.7	82.6	102.5	144.3	1.34	1.18	15.3	18.8
3月	104.9	89.2	76.7	86.8	103.3	84.4	105.2	124.2	1.32	1.16	18.5	21.5
4月	105.2	95.1	78.6	93.4	96.6	100.3	106.0	135.3	1.32	1.15	15.4	21.0
5月	104.1	96.5	83.5	95.8	100.2	98.7	100.2	155.2	1.32	1.15	16.5	20.2
6月	105.0	89.1	81.5	89.7	99.6	99.4	118.4	131.5	1.31	1.13	14.0	17.8
7月	103.5	90.4	87.4	81.8	101.4	102.7	103.3	112.4	1.30	1.12	14.1	15.4
8月	103.1	90.8	76.3	90.6	88.5	91.8	115.1	134.2	1.30	1.13	13.3	14.5
9月	103.2	90.2	85.1	86.2	85.2	110.2	108.4	167.0	1.29	1.12	15.4	17.0
10月	104.4	91.3	78.5	96.2	90.7	123.1	96.9	151.7	1.29	1.10	14.8	16.2
11月	103.8	87.7	76.7	100.0	79.9	20.1	102.3	150.8	1.27	1.10	14.9	50.9
12月	105.0	76.2	67.1	78.6	73.2	30.3	96.0	148.5	1.27	1.10	13.0	15.4
2024年1月	98.0	76.4	75.3	82.0	81.9	21.0	83.1	157.5	1.27	1.14	10.8	11.8
2月	97.9								1.26	1.18	14.1	11.8

	百貨店・スーパー販売額			新車登録台数			新設住宅着工戸数			公共工事請負額	
	販売額(億円)	全国(前年比)	和歌山県(前年比)	登録台数(台)	全国(前年比)	和歌山県(前年比)	着工戸数(戸)	全国(前年比)	和歌山県(前年比)	請負金額(億円)	和歌山県(前年比)
2018年	1,211	0.0	-2.1	22,509	-1.3	-2.3	4,935	-2.3	8.7	1,487.6	15.1
2019年	1,188	-1.1	-1.9	22,456	-1.9	-0.2	5,188	-4.0	5.1	1,585.1	6.6
2020年	1,133	-5.4	-5.4	20,217	-12.3	-10.0	4,514	-9.9	-13.0	1,847.2	16.5
2021年	1,093	0.9	-3.7	18,949	-2.9	-6.3	4,591	5.0	1.7	1,806.3	-2.2
2022年	1,090	3.8	-0.3	17,299	-8.3	-8.7	4,758	0.4	3.6	1,584.1	-12.3
2023年1月	104.4	5.5	3.8	1,673	10.8	12.7	354	6.6	-22.0	65.1	-9.6
2月	86.7	5.2	3.0	1,830	26.3	30.4	378	-0.3	3.8	65.8	-16.8
3月	85.9	3.6	0.8	2,423	15.7	15.1	271	-3.2	-23.2	285.3	57.1
4月	88.4	5.2	2.2	1,571	23.1	34.2	312	-11.9	-19.8	205.7	8.7
5月	88.5	3.7	2.0	1,464	28.1	36.7	278	3.5	-25.9	162.9	-17.7
6月	88.5	4.3	1.0	1,823	31.5	35.6	225	-4.8	-34.6	155.3	-10.1
7月	93.4	5.9	2.7	1,770	18.3	23.9	390	-6.7	8.9	150.4	3.5
8月	96.1	6.5	2.6	1,368	19.4	15.5	415	-9.4	-4.8	101.6	-42.5
9月	87.2	4.8	2.6	1,830	12.5	9.1	346	-6.8	-34.8	176.8	6.5
10月	88.5	4.0	-1.0	1,615	14.9	12.4	446	-6.3	19.9	106.5	5.9
11月	92.3	4.4	0.2	1,700	15.1	13.9	325	-8.5	-3.8	92.3	57.7
12月	106.2	2.6	-1.5	1,516	11.1	1.1	218	-4.0	-50.9	143.9	225.0
2024年1月	104.1	3.3	-0.2	1,501	-5.5	-10.3	269	-7.5	-24.0	107.7	65.4
2月	86.7	7.6	0.0	1,531	-16.0	-16.3	205	-8.2	-45.8	71.5	8.8

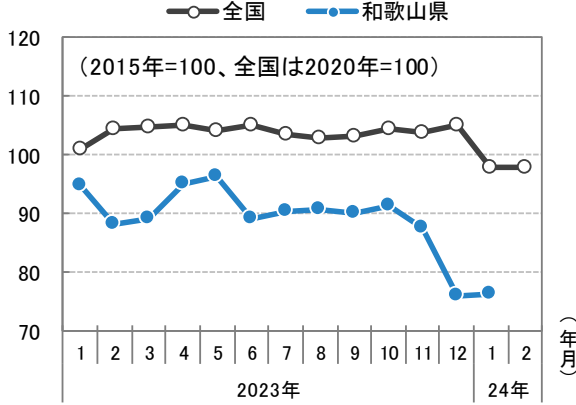
(注1)鉱工業生産指数、有効求人倍率は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(2024年4月1日に取得可能な資料より作成)

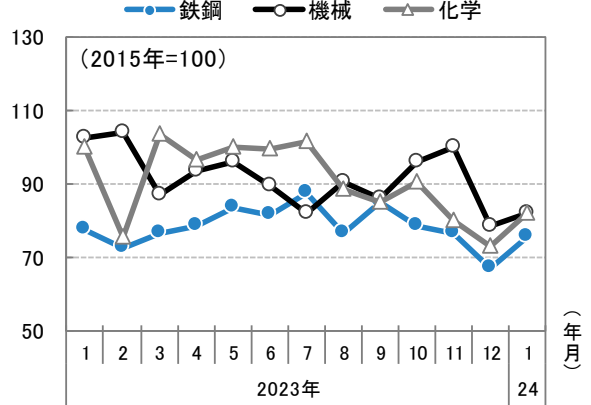
(注2)「充足率」とは、事業者が希望通りの人員数を確保できるかどうかを数値で表したものであり、数値が低いほど、人材の確保が難しい。

※百貨店・スーパー販売額、新車登録台数、新設住宅着工戸数、公共工事請負金額の各グラフは前年同月比を表しています。

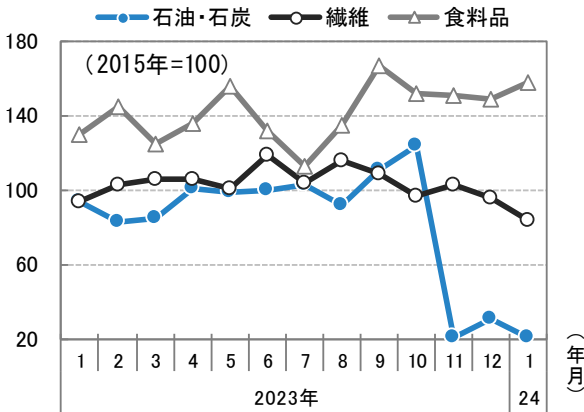
鉱工業生産指数



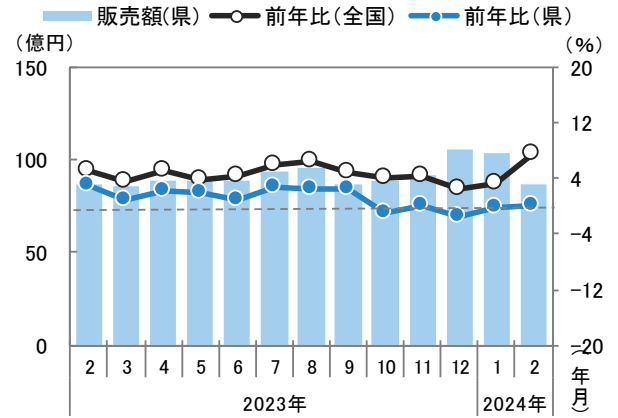
鉱工業生産指数(和歌山県)



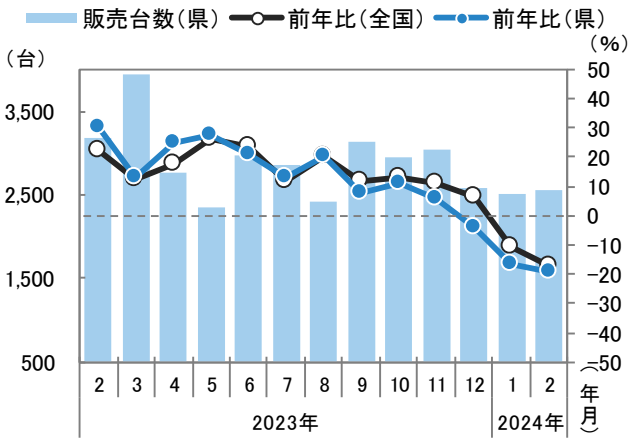
鉱工業生産指数(和歌山県)



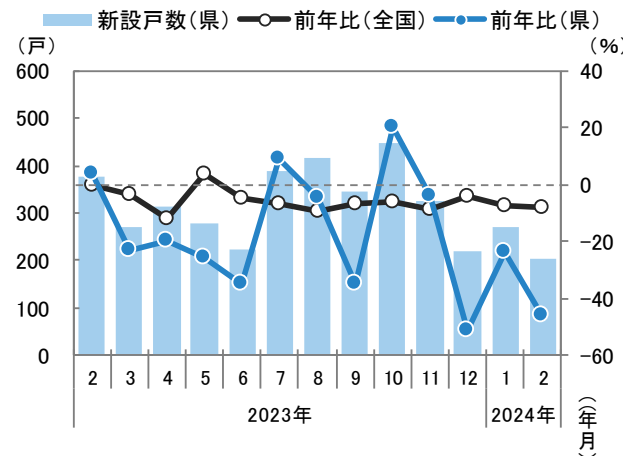
百貨店・スーパー販売額



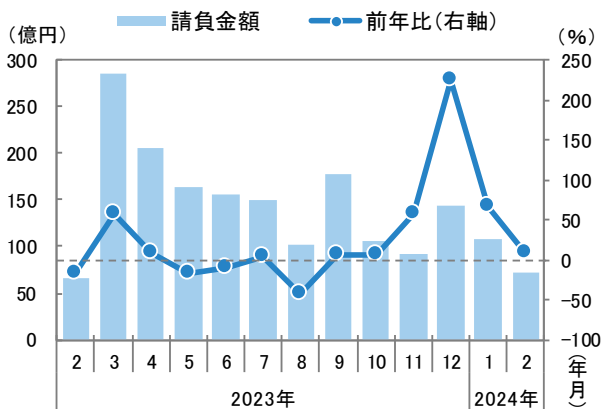
新車(登録車+軽自動車)販売台数



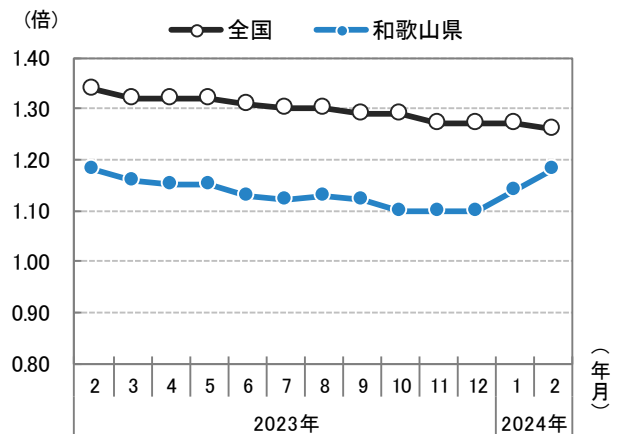
新設住宅着工戸数



公共工事請負金額(和歌山県)



有効求人倍率





www.wsk.or.jp

一般財団法人 和歌山社会経済研究所

〒640-8033 和歌山市本町2丁目1番地 フォルテワジマ6階

TEL 073 (432) 1444 FAX 073 (424) 5350

発行日：2024年4月30日